

日本国際政治学会 2014 年度研究大会 共通論題・部会プログラム

(2014 年 10 月 2 日現在)

11 月 14 日(金)

受付開始: 12:00

午後の部会 (13:00~15:30)

部会1 文化外交の光と陰

司会・討論 平野健一郎(東洋文庫)

報告 齋藤嘉臣(京都大学)

「『イギリスの投影』と文化発信——戦間期、戦後初期を中心に」

川村陶子(成蹊大学)

「ドイツ対外文化政策の刷新と継続——歴史的考察」

坂井一成(神戸大学)

「現代フランス文化外交の戦略と課題」

討論 近藤誠一(近藤文化・外交研究所〔元文化庁長官〕)

部会2 国際関係の中の民族問題——歴史的考察

司会 大芝亮(一橋大学)

報告 篠原初枝(早稲田大学)

「国際連盟と少数民族問題」

野田岳人(群馬大学)

「ソ連における民族マイノリティの強制移住とその背景——チェチェンを事例として」

六鹿茂夫(静岡県立大学)

「冷戦後の民族問題と国際安全保障——ウクライナ危機を中心として」

討論 玉井雅隆(立命館大学)

上野俊彦(上智大学)

部会3 第一次世界大戦とアジア——日本・中国・インドと国際秩序の変容

司会 高原秀介(京都産業大学)

報告 奈良岡聰智(京都大学)

「第一次世界大戦と日中関係——二十一カ条要求を中心として」

上田知亮(京都大学)

「第一次世界大戦と英印関係——植民地ナショナリストからみた帝国秩序」

菅原健志(イーストアングリア大学)

「第一次世界大戦後のアジア国際秩序とイギリス外交——アーサー・バルフォアの外交構想を中心として」

討論 川島真(東京大学)

君塚直隆(関東学院大学)

部会4 Information Transmission and International Relations 【IRAP部会】

Chair: Atsushi Tago (Kobe University)

Paper Presenters: Steve Pickering (Kobe University) and Rob Johns (University of Essex)

“Cui bono on Benefits Street?”

Tom Scotto (University of Essex)

“Playing tough? : British and American Attitudes towards China's Economic and Military Power”

Atsushi Tago (Kobe University) and Maki Ikeda (University of Tokyo)

“How to Lose Foreign Domestic Support for Use of Force: Difference in Expected and Surprise Veto in the UN Security Council”

Discussant: Shoko Kohama (Hokkaido University)

部会5 「外交と国内政治」(自由論題部会)

司会・討論 増田弘(東洋英和女学院大学)

報告 モロジャコフ・ワシーリー(拓殖大学)

「ソ連・コミンテルンから見た日本統治時代の台湾」

滝田遼介(慶應義塾大学)

「昭和期日本における『北進』に関する一考察——1939年秋期における対外戦略の模索を中心に」

長澤裕子(東京大学)

「米韓原子力協定(1956年)に関する一考察」

高橋美野梨(北海道大学)

「自治と気候変動——デンマーク領グリーンランドにおける『対外的自治』『対内的自治』」

討論 後藤春美(東京大学)

●分科会セッション A (15:45~17:15) 別掲

●分科会セッション B (17:30~19:30) 別掲

11月15日(土)

受付開始: 9:00

午前の部会 (9:30~12:00)

部会6 The ROK, China and Japan: Northeast Asia in Flux 【日韓合同部会】

Co-Chairs: Nakanishi, Hiroshi (President, JAIR)

Nam, Gung-Young (President, KAIS)

Speakers: Kamo, Tomoki (Keio University)

“China’s New Periphery Diplomacy and its East Asian Neighbors”

Hwang, Jae-Ho (Hankuk University of Foreign Studies)

“South Korea’s New China Policy”

Park, Byung Kwang (The Institute for National Security Strategy)

“China’s Policy toward North Korea in the Xi Jinping Era”

Discussant: Kim, Joonsub (Korean National Defense University)

Nakayama, Toshihiro (Keio University)

部会7 新たな経済交渉方式としての TPP——異なるディシプリンからのアプローチ

司会 古城佳子(東京大学)

報告 菊池努(青山学院大学)

「アジア太平洋の制度競争の中の TPP」

西山隆行(成蹊大学)

「アメリカの FTA 政策と TPP——地域研究・比較政治学の観点から」

石黒馨(神戸大学)

「官邸主導の TPP 交渉と農政改革——2 レベルゲーム分析」

討論 大矢根聡(同志社大学)

部会8 グローバル化時代における覇権理論の再検討

司会 猪口孝(新潟県立大学)

報告 Le Lien Thi Quynh (長岡科学技術大学)

「国連寄託 120 国間条約データに基づく『覇権なき協調パラダイム』の検証」

渡邊松男(新潟県立大学)

「経済開発としての国際レジームはどのような進展および停滞を経験したか？」

足立研幾(立命館大学)

「パワーシフトと軍縮・軍備管理レジーム」

討論 飯田敬輔(東京大学)

部会9 日米安保体制の再検討——冷戦変容期と冷戦後における対等性と従属性

司会 菅英輝(京都外国語大学)

報告 中島琢磨(龍谷大学)

「冷戦秩序の変容と日米安保体制」

初瀬龍平(京都女子大学)

「日米関係のバランスシートと日米安保体制」

豊下楯彦(元関西学院大学)

「安全保障環境の変動と安保体制」

討論 滝田賢治(中央大学)

黒崎輝(福島大学)

部会10 日本の国際政治学を考える

日本の「リベラリズム」の再検討——理論・地域研究における権力批判の諸相

司会 三上貴教(広島修道大学)

報告 松田哲(京都学園大学)

「植民政策学からの国際関係論構築とその後の展開——川田侃の研究を中心に」

定形衛(名古屋大学)

「東欧地域研究と権力批判——木戸蒔の研究を中心に」

戸田真紀子(京都女子大学)

「アイデンティティ研究と国際関係論——馬場伸也の研究を中心に」

討論 林忠行(京都女子大学)

土佐弘之(神戸大学)

●分科会セッション C (13:30～15:10) 別掲

【共通論題】 世界戦争 100 年、地域紛争・戦争と国際政治——比較国際政治の視点から

15:20～18:10 3階メインホール

司会 国分良成(防衛大学校)

報告 馬場優(福岡女子大学)

「第1次世界大戦——ハプスブルク帝国とセルビア・ナショナリズム」

油井大三郎(東京女子大学)

「第2次世界大戦と覇権移動——その記憶の抗争に注目して」

酒井啓子(千葉大学)

「中東の『長い戦後』と『短い革命後』——サイクスピコと79年体制の終焉？」

宇山智彦(北海道大学)

「クリミア後のユーラシア国際秩序と地域紛争——帝国競存の再来？」

討論 田中明彦(独立行政法人国際協力機構)

渡邊啓貴(東京外国語大学)

総会 (18:10～18:40)

懇親会 (19:00～20:30)

11月16日(日)

受付開始: 9:00

●分科会セッションD (9:30～11:00) 別掲

●分科会セッションE (11:15～12:45) 別掲

●IRAPセミナー (12:00～14:00)

IRAP編集委員会は、英語論文投稿の手引き解説や、実際に投稿経験のある会員の経験談を交えたチュートリアルからなる特別セミナーを開催します。

十分な質疑応答の時間を設け、英語による知的発信が盛んになる契機にしたいと考えます。関心のある多くの会員の出席をお待ちしております。

司会 多湖淳(神戸大学)

プレゼンター 土屋智子、的場美希、佐々木美保(オクスフォード大学出版局)、

佐藤洋一郎(立命館アジア太平洋大学)、倉科一希(広島市立大学)

午後の部会（14:00～16:30）

部会11 日本の国際政治学を考える

日本における国際政治学教育のあり方——英語授業の可能性と限界

司会 山本吉宣（新潟県立大学）

報告 清水耕介（龍谷大学）

「非西洋型国際関係理論の英語での教授法——矛盾とアンビバレンス」

Matthew Linley（名古屋大学）

「日本の大学生は、英語開講の政治学講義でどのように学術知識を学ぶのか」

上村威（新潟県立大学）

「英語による国際政治学教育の課題」

討論 佐藤洋一郎（立命館アジア太平洋大学）

信田智人（国際大学）

部会12 NATO 核共有制度の起源——1956—1957年の同盟危機を中心に

司会・討論 倉科一希（広島市立大学）

報告 新垣拓（防衛研究所）

「米国による初期の NATO 核シェアリング制度案」

岩間陽子（政策研究大学院大学）

「アデナウアー政権と西ドイツの核保有問題」

川嶋周一（明治大学）

「ユーラトムの成立とヨーロッパ核秩序——統合・自立・分散 1955—1958」

討論 赤木完爾（慶應義塾大学）

部会13 日本の ODA60 周年——評価と課題

司会 田所昌幸（慶應義塾大学）

報告 保城広至（東京大学）

「日本の ODA とアジア地域関係の 60 年——パネルデータによる計量分析」

高柳彰夫（フェリス女学院大学）

「世界の援助潮流と日本の ODA 政策」

長有紀枝（立教大学）

「人道と『人間の安全保障』の課題からみる日本の ODA——その評価と課題」

討論 福島安紀子（東京財団）

高橋基樹（神戸大学）

部会14 緊迫の米欧ロ関係とユーラシア情勢——紛争をめぐる協調と相克

司会 伊東孝之(早稲田大学)

報告 鶴岡路人(防衛研究所)

「NATO における抑止と安心供与——ウクライナ危機を受けての新たな課題」

小副川琢 (東京外国語大学)

「米欧ロ関係と中東情勢——シリアの事例を中心に」

末澤恵美(平成国際大学)

「ウクライナ危機と対米欧ロ関係」

討論 袴田茂樹(新潟県立大学)

細谷雄一(慶應義塾大学)

部会15 揺れる中国のガバナンスと周辺国の対応 【兼・市民公開講座】

司会 中岡まり(常磐大学)

報告 阿古智子(東京大学)

「中国の『公共圏』をめぐる問題」

星野昌裕(南山大学)

「中国のガバナンスと民族問題——チベット・ウイグル問題を事例に」

三宅康之(関西学院大学)

「『政令不出中南海』——中国における中央地方関係の現状」

討論 鈴木隆(愛知県立大学)

湯川拓(大阪大学)

部会16 グローバル／地域ガバナンスの諸相 (自由論題部会)

司会・討論 吉川元(広島市立大学)

報告 上村雄彦(横浜市立大学)

「気候資金ガバナンスに見るグローバル・タックスと地球環境ガバナンスの交差」

宮崎孝(名古屋経済大学)

「人道的介入の法的根拠の再検討」

古賀慶(南洋理工大学)

「地域安全保障機構の制度変化——ASEAN と ECOWAS の比較検証」

李永澍(明治大学)

「EU における「武器輸出に関する行動規範」の設立経緯の再考(1989-2008)——EU 加盟国の政策決定過程における中国要因を中心に」

討論 西谷真規子(神戸大学)